

「学び合い」はどう生まれるのか — 模擬患者（SP）養成の研究
から考えるSSRL（学習の社会的共同調整） —

プレゼンター：早川佳穂（MEDC）

ナビゲーター：宮地由佳（MEDC）

医療者教育では「協働して学ぶ」ことが重視されていますが、学習者同士の学び合いは、ただ集まるだけで自然に生まれるものではありません。今回は、Socially Shared Regulation of Learning（SSRL：学習の社会的共同調整）をキーワードに、協働的な学びがどのように生まれ、教育者がそれをどのように支えられるのかを考えます。模擬患者（SP）を対象としたSP養成に関する研究成果を手がかりに、医学生教育や多職種教育をはじめ、さまざまな教育場面に応用できる実践的なヒントを、参加者の皆さんと共有します。

アソシエイトポイント：TL 0.125